



↑ キッチン是对面式にしてオープンに。念願の食器洗い機も入れた



↑ L字型で個室タイプだったキッチン

### キッチン新しくL字→対面式に

当初は「食器洗い機を入れたい」という希望だったが、「費用はほとんど変わらない」とキッチンの取り換えを提案したラムハウジング。対面式キッチンよりも安い形タイプのキッチンを設置して裏側に壁を造作。床は既存の床を利用し、壁は既存のタイル壁をはがさず、上にベニヤとクロスを張ることで、費用を抑えた。夫人は「料理中でも遊びに来る孫の様子が見れるので、対面式にして良かった」と満足げ。

### 水回り一体化 介護にも◎

「車イスの母が来る時も安心して使えるように」と依頼したSさん。介護が必要になった時に、重要なのがトイレなど水回りの使い勝手だ。車イスや介助者が入るスペースを設けることが、本人の自立や介助のしやすさにつながる。「スペースを広く取るため、水回りは一体化することが多い」とラムハウジング。Sさん宅では、トイレの出入り口を洗面所側に変更し、水回りを一体的に使えるようにして広さを確保。扉は出入り幅を広く取るため引き戸や折れ戸にし、段差をなくした。



↑ リフォーム前。洗面所はタイル張りで幅が狭かった

↑ トイレの戸を洗面所側へ設置し水回りを一体化。以前の洗面化粧台を加工し再利用した



↑ バリアフリーにして引き戸にし、スペースを確保

### 平面図



## キッチン、水回り一新

築33年の住宅で安心して暮らせるよう、3度改装したSさん宅。水回りの工夫が光る。

# 退職後に無理なく改装

沖縄市のSさん(72)宅は鉄筋コンクリート造の平屋。5年前、「寝ていた時に、ボンツという大きな音で目が覚めた」とSさん。リフォーム会社の有ラムハウジングに相談したところ、天井裏のコンクリートがはがれ落ちたのが原因と判明。補修し断熱、防水塗装をした。同時に、老朽化が気になっていた水回り(風呂、トイレ、洗面室)も全面改修。費用は屋根が110万円、水回りが230万円だった。その後、●年前にキッチンを対面式に変え(70万円)、●年前に玄関扉を引き戸に交換(45万円)。計3回リフォームをした。「働いている間は時間が無くて、退職後ずっと気になっていた場所を無理なく支払える範囲

でリフォームしました。断熱のおかげでかなり涼しくなり、読書が楽しめるように。台所仕事も洗濯もしやすくなったので、やる気ができます」と笑う。無理なく手をかけた住まいが、日々の元気につながっている。